
Song of death

黒狐由意

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

S o n g o f d e a t h

【Nコード】

N 8 5 6 8 F

【作者名】

黒狐由意

【あらすじ】

死をくれる者というのはいるのか、というテーマの短編

暗い酒場の片隅にギターを弾いた男が歌う。

何故人は死にたがるの？

この世が辛いから死にたがる

死んだら本当に救われるの？

その答はここにはない

ただ言えること、それはこの世が果てしない苦しみの続く世界と言
う事だけ

果てしない苦しみを我慢せねばならない世界。その名を地獄と言
いはしないか？

貴方達は地獄で生活している

君たちは地獄で我慢し続けている

この世界に救いはあるのか？

ああ、神様何故安らかな死を与えてくだらないのですか

わたしが望むもの、それは永久の安らぎだけなのに……

酒場の中をまっすぐに娘が歩いてきた。

手の中のお金を押し付けて彼女は尋ねた。

「教えて欲しい。死なせ屋とは一体どこにある？」

ギターの男はゆつくりと顔を上げた。

ふふつと笑う。

「何故貴女がそんな事を問うのです？ 貴女は十分豊かで暮らしにも困っていないように見える」

「豊かならば、本当に幸せか？ 不幸ではないと言えるのか？」

娘は険しい表情で返した。

「それはこの世を生きるその人次第。

同じ様に生き、幸せと感ずる者もいれば、不幸でたまらない、いますぐこの世を出て行きたいと願う者もいるに違いありません」

娘はゆつくりと頷いた。

「私はこの世に生きるのが辛い。もうここにはいたくないのだ。知っているならばどうか教えてくれ。いやお前は知っているはずだ。そんな歌を歌えるのは死なせる者達を知っている者だけだ」

ギターの男はつばの広い帽子を少し持ち上げて笑った。

なんの変哲も無い浅黒い顔。伸びだした髭。親しみのあるような黒

い瞳。

「死なせ屋ですか……。どうぞ。この店を出てそんなに遠くは無い」
ギターの男は帽子を深く被り直した。もう表情は口元しか見えない。
歪んだような唇が笑っていた。

「ありがとう。もう会う事もあるまいが」

娘はすぐに向きを変えて店を出て行った。

暗い酒場の中でギター弾きの男は弦を掻き鳴らし、再び歌いだした。

何故そんなに死に急ぐ、娘よ

お前には愛しい家族もいる、友人もいる、お前を求めている未来の
恋人すらいるではないか

何故全てを投げ打ち、死神の愛情を求める

お前の望んでいるのは絶望の快樂

地獄の夢

どこにも行けはしない

ただ永い、永久の後悔が刻まれるだけ

何故死に急ぐ、娘よ

そして何故私に死に場所までの道を最期に訊いたのだ……

歌が止むと店内から拍手が聴こえた。

客が不思議そうに尋ねた。

「だけど何て言った……？あの女の子は」

「死なせ屋って聞こえたぞ。おいギターを弾いている奴、あんたは知っているのか？なんの事なんだ？」

男はにやりと唇だけで笑って新しいリクエストに応えた。

死なせ屋とは巨大な館

生者と死者を引き離す黄泉の前庭

巨大な扉が両者を分け隔てる

引き裂かれればもはや再会する事は叶わぬ扉

例え逃げ込んだ者が死を望まなかったとしても

もはや今までの記憶も生活も取り上げられる

それは死を望んだものの罪

生を捨てた者への罰

ある者は初めの望みの通り死を選ぶ

その者は殺される

死を望んだ咎で死刑にされるといふ名の凝り様

ああ、人々よ

何故悪魔に契約を持ちかけることもなく

恐ろしい願いすら持つこともなく

悪魔の手を振り払い、死神の手を心待ちにするのだ？

死神の愛撫は離れ難いか？

彼等の顔はそれほどまでに美しいのか？

ギターと歌が静まるとお客の一人がぼつんと言った。

「なあ……さっきの女の子、誰も止めなくていいのか？」

誰かが数人走り出して店を出て行った。

ギターを持った男は首を振る。

「もう間に合わないさ

彼女が望んだことだから……」

ギター弾きの男はぼそりとそう言って、また別の曲を始めた。

ある時ある不幸な人が問うた

何故病氣の人が死に行く場所はあるのに

健康な者には横たわる場所すらないのかと……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8568f/>

Song of death

2010年12月8日14時31分発行